

資料No.3

上郷公民館の耐震化整備事業について

生涯学習・スポーツ課
飯田市公民館

1 経過

- ・平成 22 年度に行った耐震診断で、公民館棟、自治振興センター棟ともに、1・2階部分で I_s 値（構造耐震指標）が判断基準の「0.6」を満たさない個所を確認し、耐震化整備を要する施設と判断。
- ・平成 24 年 7 月に上郷地域まちづくり委員会（まちづくり拠点施設建設委員会）がまとめた「上郷地域まちづくり拠点施設建設基本方針」の中で現地改築を求める考え方が示されたこと、また、移転整備の可能性を調査したが他の適地が見つからなかったことから現地改築とした。

2 設計概要

(1) 建物の構造・規模

- ・構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 2 階。
- ・延床面積：2,217.82 m^2 。
- ・耐震グレード：A グレード（通常想定する大地震に対して、一般建築物よりも生じる破損の程度を低減し、更に大きな地震動に対しても建築物の安全性の確保を目的とする地震力係数）。

(2) 配置 *別紙 1 参照

- ・東側は土砂災害警戒区域に指定されているため、建物ではなく駐車場を配置。
- ・駐車場の計画位置から、メインエントランスは東側へ計画。JA 上郷支所との連携を考慮し西側へサブエントランスを計画。
- ・消防詰所は、緊急時に迅速に対応するため敷地北西側へ配置。

(3) 利便性への配慮

- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮した誰もが使いやすい施設。

(4) 環境配慮

- ・建物全体で熱負荷を最小限に抑えるよう、高断熱工法、複層ガラスを採用。
- ・木材利用促進方針により内装に地元産木材を使用した木質化を図る。
- ・太陽光発電パネルを設置することで自然エネルギーを取入れ、省エネに配慮。
- ・照明器具は効率のよい LED 光源を採用。

(5) 災害対策

- ・災害対策本部としての機能を継続するために非常用発電機設備（運転時間は 72 時間：消防詰所へも供給）、緊急用直結式飲料貯水装置、緊急排水槽、シャワー室を設置。
- ・河川、水路への急激な流入を抑制するため、雨水を一時的に敷地内の施設へ貯留。

3 土地の取得について *別紙2参照

- ・現在の駐車スペースは 32 台であり、人口規模に対して駐車場が不足している。これを解消するために近隣の土地を買収し 96 台のスペースを確保する。

4 市道上郷 21 号線の拡幅改良及び用水路の改修について

- ・公民館等への進入路となる市道 21 号線は児童・生徒の通学路であるが幅員が狭く危険なため、JA 上郷支所の土地を買収し、拡幅改良を行い安全確保を図る。(道路幅員を 6 m とし、学校側に 2 m の歩道を設ける)

5 仮事務所について *別紙3参照

- ・施設の解体・建設の間、上郷考古博物館の施設内に自治振興センター及び公民館の仮事務所を設置。
- ・仮事務所の業務開始は、9 月 4 日からを予定。

6 改築に伴う上郷公民館の休館について

- ・平成 29 年 8 月 28 日～平成 31 年 3 月 31 日までを予定。
(飯田市公民館条例第 3 条 (2) による)

7 休館中の団体等の活動場所について

- ・社会教育関係団体は、主に飯田市公民館及び座光寺公民館をはじめとする市内 19 地区公民館、上郷地区内の 3 集会施設(黒田研修センター、下黒田南多世代交流プラザ、別府上コミュニティセンター)、上郷まちづくり委員会等は、主に飯田商工会議所上郷支所を利用いただく。
- ・これらの使用申請の受付、許可等の事務は、上郷考古博物館内に置く仮事務所で行う。

8 スケジュールについて

- ・別紙 4 のとおり

9 参考資料

- ・平面図(別紙 5、5-2、5-3)、立面図(別紙 6、6-2)